|  |  |
| --- | --- |
| 区分 | 具体的内容 |
| 入職促進に向けた取組 | ●法人や事業所の理念や活動等、ホームページや介護サービス情報公表制度を活用し、必要な情報の公開に努めています。●他産業からの転職者、中高年齢者、経験者・有資格者にこだわらず幅広く積極的な採用に努めています。●職場体験の受け入れや地域行事へ参加し、職業魅力度の向上に努めています。 |
| 資質の向上やキャリアアップに向けた支援 | ●働きながら介護福祉士取得を目指す職員に対する実務者研修受講支援、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引、認知症ケア研修等の受講支援等を行っています。●目標管理シートにより、職員一人ひとりの目標やキャリアアップの希望を把握し、人事考課制度に基づき職員が希望するキャリアや研修が受講できるよう支援しています。 |
| 両立支援・多様な働き方推進 | ●育児休業・介護休業制度等により仕事と両立を目指す職員への取組みをしています。●職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換を行っています。 |
| 腰痛を含む心身の健康管理 | ●短時間労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェック、従業員のための休憩室を設置しています。●職員へ腰痛予防研修の実施、負担軽減のためのチェア式浴槽等の設置を行っています。 |
| 生産性向上のための業務改善の取組 | ●タブレット端末やセンサー、見守り機器等の介護ロボットの導入による業務量の縮減に努めています。●業務手順書の作成、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減を行っています。 |
| やりがい・働きがいの醸成 | ●ミーティング等による職場内のコミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善に努めています。●利用者本位のケア方針など介護保険や法人理念等を定期的に学ぶ機会の提供を行っています。 |

**社会福祉法人彩のかけはし　処遇改善に関する加算の職場環境等要件の取組みについて**

〈令和4年4月1日〉